

単元名 スキルアップ

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容、曲想と強弱など、音楽の構造との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌ったり、拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 歌声や旋律の重なりや流れの変化、手拍子の強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 歌詞や曲の特徴を生かした表現や全員で表現を揃えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05070101_001

【教材名】 夢色シンフォニー（歌唱） 花のおくりもの（歌唱） クラップ フレンズ（音楽づくり）
（P. 4～P. 7）

【準備等】 範唱CD、メトロノーム、拡大楽譜

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|---|---|
| <p>1 「夢色シンフォニー」「花のおくりもの」を歌うことを通して、歌い方の技能を身に付ける。</p> <p>★気持ちをそろえて楽しく歌おう</p> <p>○「夢色シンフォニー」の範唱を聴き、主旋律（上声部）を聴唱法で歌う。</p> <p>○気付いたことを話し合いながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞に込められた思い ・歌詞と旋律の関わり など <p>○自分たちの歌を客観的に聴いて、よりよくなるよう表現の工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループに分かれて聴き合う。 ・自分たちの歌を録音して聴く。 <p>○副次的旋律（下声部）を聴唱法で歌い、全体の響きを聴きながら二部合唱する。</p> <p>○「花のおくりもの」の範唱を聴き、聴唱法で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレーズのまとまりや呼吸の仕方を工夫して歌う。 <p>○全体の響きや伴奏を聴きながら輪唱する。</p> <p>○速さや声の出し方をそろえて輪唱を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速度記号を理解する。 <p>2 「クラップ フレンズ」を演奏することを通して、リズム感や強弱表現の楽しさを味わう。</p> <p>★強さを変えてハンドクラップを楽しもう</p> <p>○「クラップ フレンズ」のリズムや強弱記号、速度記号を覚える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音符の長さを知る。 ・強弱記号、速度記号を確認する。 ・教師の後に続いて演奏する。 <p>○「クラップ フレンズ」を工夫して演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速さを工夫する。 ・強さを工夫する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習進度や学校、児童の実態に応じた曲を選んでもよい。 ・歌声のトレーニングとして、随時取り入れるとよい。 ・【共通事項】旋律 フレーズ 【発展】全体符 【評】曲想と、旋律など音楽の構造や、歌詞の内容とを関わらせて歌う活動を通して「知識」を評価する。 ・拡大した楽譜を用意し、出た意見を書き込む 【評】歌声、旋律の流れや変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・各声部の歌声やピアノパートなどをよく聴いて歌わせる。 ・曲の後半は音が跳躍し、高いレやミが連続する部分があり、無理な発声や弱声になることが考えられるため、響きや呼吸を意識した発声をさせる。 【共通事項】音の重なり ・2小節続けて歌うための息の使い方を確認しフレーズのまとまりを表現できるようにさせる。 【評】各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う活動を通して「技能」を評価する ・3つのパートに分ける際、各パートの音量やバランス、声の質が均一になるようにパート分けを配慮する。 ・慣れてきたら6～9名のグループで三部輪唱する。 ・声の出し方とともに拍（縦の線）や速度を揃えて歌うことが、ハーモニーを生み出すために大切である。曲にふさわしい速度を見付け発音のタイミングを合わせ、縦を揃えるよさを児童に感じ取らせる。 【新出】速度記号 【評】全員で歌唱表現を揃えて輪唱する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・4分音符、8分音符、付点4分音符の長さを確認させる。 ・P. 7の右隅にある強弱記号をしっかりと押さえる。 【新出】f mf mp p アクセント ・メトロノームを使い、速さを変えて、速度記号の数字と実際に感じる速さを比べさせる。 |

・強弱記号を示しながら，強弱を工夫させる。

【共通事項】速度 強弱

【評】手拍子の強弱を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや美しさ，面白さを感じ取り拍に合わせ全体の響きを聴いてリズム打ちをする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】